

## おめでとうございます!

### 2007年 1500人目の赤ちゃん 田中彩音(あやね)ちゃん

2007年11月11日生まれ

2007年11月11日に誕生した田中様の第2子は、待望の女の子でした。

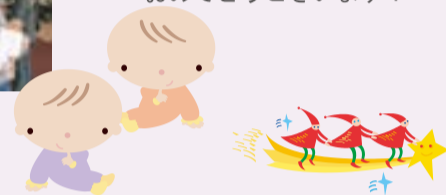
第1子は現在4歳の東彩(つかさ)くん。「長男の時は他院での出産だったため、今回の出産ははじめての時のように不安がありましたがいざ入院してみると、スタッフの優しさにその不安もすぐに解消しました」と田中様。東彩くんの時は破水で、そして今回は陣痛での入院となりました。分娩室では「2人目」の余裕で、「生まれてくる瞬間」を実感することができ、分娩時間も比較的短く楽なお産だったようです。

名前はお兄ちゃんから一字もらい、それにずっと付けたかったという「音」という字をあわせて彩音(あやね)ちゃんと名づけました。「いっぱい飲んで、いっぱい寝て、大きくなってね」と彩音ちゃんの寝顔に語りかける田中様。「お兄ちゃんは、妹の誕生をとても喜んでくれ、心配していた赤ちゃん返りも今のところなく、お兄ちゃんらしく振舞ってくれています」「子育ては、なるようになるのであまり神経質になりすぎないで!」とこれから出産される方へのアドバイスもいただきました。

分娩後、実習に来ていた桐生短期大学の看護学生が、お祝いの色紙をプレゼントしてくれ、いい記念になりましたと喜んでくださいました。みどり市出身なので、お里の近くの学校だからと、よるこんで実習生を受け入れてくださり、ありがとうございました。

「主人が『がんばってくれたね』と労をねぎらってくれたんですよ」と教えてくださった田中様のほころんだお顔が印象的でした。

おめでとうございます!



### 2008年 最初の赤ちゃん 山岸ななみちゃん

2008年1月1日生まれ

今年1番に産声をあげたのは、山岸さまご夫妻のお子様ななみちゃんでした。

12月22日が予定日だったため、山岸家では『12月に子供が生まれました!』という年賀状を張り切って準備。ところが待てど暮らせどなかなか産まれません。ご夫妻は、いつ赤ちゃんが降りてくるのか心配で、緊張しながら年末を迎えました。そして大晦日の早朝。ようやく陣痛がきたので年内に生まれるだろうとほっとしていたら...気がつけば2007年も残りわずか。カウントダウンで世間が盛り上がる頃、お母様の痛みはピークに達しました。

そして2008年1月1日午前0時23分、まるで年明けを待っていたかのように、ななみちゃんが元気に誕生しました。Happyな日に生まれたななみちゃん。

ご両親の願いは、「いつも笑顔で周りの人を幸せな気持ちにさせてくれる女の子になってほしい」とのこと。取材中、かわいいお口を開けながら、すやすやと眠るななみちゃんの寝顔を見ていたらとてもHappyな気持ちになりました。

さて気になる山岸家の年賀状ですが...後日お父様が手書きで『1月1日ようやく産まれました(笑)』と書き加えたそうです。

おめでとうございます!



## 【新任医師紹介】 久保祐子医師



今年の1月に入職し、4月からは週4日勤務しています。出身は栃木県佐野市、両毛線で1時間ちょっとの所にあるのかな町です。ラーメンやアウトレットでご存知の方もいらっしゃるでしょうか?趣味は旅行と某歌手のファンでしたが、現在は8ヶ月の娘の育児に追われる毎日です。群馬大学を卒業し、群馬での生活も12年目になり、第2の故郷と感じています。海外難民医療を志し医学部に入学した私ですが、生命誕生の神秘に感動し、産婦人科の道を選びました。初めて出産に立ち会ったときの感激は今でも鮮烈に覚えています。

昨年、自分自身の妊娠・出産を通して、妊婦さんは身体的だけでなく精神的にもとても大変であることを実感しました。医師として知識・技術を磨くため日々研鑽することはもちろんですが、妊婦さんが不安や気になることを気軽に相談していただき、安心して出産・育児ができるよう支えていきたいと思っています。また、女性の生涯を通じて、その方のライフステージに合った治療とアドバイスができる医師を目指しています。

どうぞよろしくお願いいたします。 ※久保祐子医師は、週2回「健康外来」も担当しています



## 連携医紹介 【小児科連携医】

### 小児科佐藤病院 佐藤 哲(あきら)先生



昨年の5月から、毎週火曜日と金曜日に新生児回診と1ヶ月健診を担当することとなりました。小児科佐藤病院の佐藤哲です。副院長の佐藤雄一先生とは、小学生のときの同級生です。生まれたばかりの赤ちゃんを診ることになりましたが、改めて命の素晴らしさを実感し、自分の活力源にもなっています。

当病院は、高崎郵便局本局近くのお堀端にあり、病床数23床と小さいですが、入院施設のある小児科専門病院です。私は卒業後、群大小児科に入局し、アレルギーを主体とした診断、治療、研究を学んできましたが、現在は小児科専門医、アレルギー科専門医として診療しております。

最近では食物アレルギーアトピー性皮膚炎、気管支喘息の子供が増加しており、お母さん方の心配も強くなってきています。診療においても、病気を治療するだけではなくお母さんの心のケアもしていきたいと思っていますので、些細なことでも気軽に相談してください。これからも微力ながら地域医療に貢献していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



小児科佐藤病院 高崎市柳川町4 TEL027 (322) 2145  
HP <http://www.myclinic.ne.jp/hospital/pc/>

## 連携医紹介 【歯科連携医】

### 落合歯科クリニック 落合 正芳先生



高崎市請地町で開業して10年になります。請地町を知らない方は多いと思いますが、「うけちまち」と読みます。場所は高崎北小学校の辺りです。

私は北小学校卒業ですが、5年生の時、校庭の二宮金次郎の目に金色のラメを塗って先生に怒られました。たわしでこすってきれいにしたのですが元々汚れて黒い像だったので目のまわりが白くなってしまいました。二宮金次郎にたたられると、ひどく心配したのをおぼえています。私が小学生の頃は、校庭の真ん中に像はあったのですが今は無いようです。どこへいったのでしょうか。そんな思い出がたくさんある北小学校ですが、私が子供の頃と比べると今の北小学校の児童数は半分以下だそうです。全国の多くの学校がこれから統廃合されるそうですが、北小学校は大丈夫でしょうか。卒業生として心配です。

話はかわりますが、佐藤雄一副院長と私は中学校からの同級生です。なのでよくお付き合いさせてもらっています。私の子供は雄一先生に取り上げてもらいました。出産のときは私は仕事で間に合わなくて雄一先生に写真撮ってもらいました。まだ濡れていて血のようなものがあって、まさに生まれたばかり。とても大切な記念写真です。あと数年たてばこの子が北小学校へ入学して児童数増加に貢献できるでしょう。

実は雄一先生と佐藤病院歯科連携医である永井歯科の永井先生と西原歯科の西原先生と私は高校の同級生です。同じクラスで3人が歯医者になったのはめずらしいですね。私達は人生何事もこれ勉強と心得、日々努力しております。月末の水曜日はこれまたお酒の勉強と心得て夜の高崎をのんびりうろついています。話がまとまりませんが私達は歯科の領域から皆さまの健康の維持増進のお役に立ちたいと願っております。

落合歯科クリニック 高崎市請地町15-3 TEL027 (321) 8388

## 不妊治療・生殖医療部門 高崎ARTクリニック便り

願いを持つすべての夫婦にかけがえない出会いが訪れますように...



生殖心理のカウンセラーの小坂橋幸子(こいたばしさとこ)と申します。不妊治療を始めると、治療への不安やなかなか結果が出ない焦りなど、様々な思いを抱えてしまうことがあります。

私達高崎ARTクリニックでは、医師の診察後に看護師またはカウンセラーと次回の予約をとりながら、色々なお話をする時間を設けています。患者様のお話に耳を傾け、話をし気持ちの整理をして頂いたり、医師に聞き忘れてしまった事などあれば確認をし、納得をしてお帰り頂ける様に心掛けています。

またご希望の患者様には個別にカウンセリング(予約制)を行っています。当院で治療中の方はもちろん、治療を始めようか迷っている方、ご夫婦でのカウンセリングも可能です。なんとなく話してみたいという方でも結構です。カウンセリングを受けることは、精神的に弱いということでもなく、異常・病気というわけでもありません。患者様が抱えておられるさまざまな心の問題・悩みを、話すことを通して、患者様自身が持っている答えを見つけたり、どうすればもっと生きやすくなるかを一緒に考えていくプロセスです。患者様が納得のいく道を選んでいけるよう、寄り添っていきたく願っています。



赤ちゃんが欲しい特別編集  
(3月31日発行・主婦の友社)  
「2008年度版 最新 不妊治療施設ガイド」  
に掲載されています。

医療法人 館出張 佐藤会  
高崎ARTクリニック

〒370-0831 群馬県高崎市あら町136-1  
TEL 027-310-7701 FAX 027-310-7700  
<http://www.takasakiartclinic.jp/>

■診療時間  
月～日曜 8:30～13:30 (水曜 8:30～12:30)  
\*祝日・年末年始は休診



【実績 2007年1月～12月末】  
体外受精765件  
平均年齢 35.0歳  
化学的妊娠率(胚移植あたり) 30.0%  
臨床的妊娠率22.2%

### 佐藤病院理念

私たちは出産を中心に、女性の生涯にわたる専門病院として、優秀なスタッフによる最新医学を取り入れた診療内容を地域社会に提供する使命を自覚し、温かみのある看護とサービスにより、患者様一人ひとりに愛される病院を目指します。

### 基本方針

- 1.地域に密着した女性専門病院として、女性の生涯に貢献する
- 2.常に学び続け、医療技術の向上を図る
- 3.医療のプロとして誇りを持って行動し患者様の信頼に応える
- 4.互いの信頼関係を大切にし、信頼の輪を広げる
- 5.経営環境を自覚し、適応する効率と改善に努力する

### 患者さまの権利章典

当院は患者さまの医療に対する主体的な参加を支援するために、以下の「患者さまの権利章典」を尊重し診療を行います

- 1.患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を得る権利があります
- 2.患者さまには、医療従事者が提供する治療法に関して、自らの意思で決定する権利(選択する権利と拒否する権利)があります
- 3.患者さまには、診療録等の開示を求めるとの権利があります。また、診療過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります
- 4.患者さまには、医療従事者に対して、患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただく責務があります
- 5.患者さまには、すべて患者様が適切な医療を受けられるために、他の患者様の治療に支障を与えないように配慮していただく責務があります